

スキルパークのニーズと整備の方向性

1 スポーツサイクルスキルパークについて

スポーツ自転車に乗るためには「乗る・走る・止まる・曲がる」など、シティサイクル(ママチャリ)以上に技術を要するため、安全な環境で練習できる場所が必要となる。NUMAZU サイクルステーション静浦東を利用する初心者のサイクリストからは、サイクリングに出発する前に「乗る・走る・止まる・曲がる」練習をする場所が欲しいとの要望が寄せられている。

旧静浦東小学校に存在するプールは、プールとしての機能を既に失っているが、塀に囲まれ平らな面を有しており、最適な練習環境となる可能性を秘めている。

2 エクストリーム系スポーツの可能性

東京 2020 オリンピックより正式種目となる「スケートボード」、「BMX」をはじめとするエクストリーム系スポーツの競技人口は、年々上昇しており、東京 2020 以降、人気に更に拍車がかかると想定される。エクストリーム系スポーツは魅せるスポーツとして人気が高まり、また練習場は遊び場・賑わいの場としても期待されるものの、日本では専用施設が絶対的に不足しているのが現状である。これは、昨年度に本市において実施した社会実験の結果(注1)からも推察されるとおり、エクストリーム系スポーツの「遊び場の創出」は、スポーツツーリズムによる観光交流人口の増加に直接的な効果をもたらす可能性が高い。

(注1) 平成 29 年度にインザパークにて実施した「沼津市マウンテンバイクアクティビティによる山地資源利活用調査及び試行業務委託」において、パンプトラックを設置した約 2 か月間の調査期間で約 400 人を超える市内外からの利用があった。利用者が使用する用具も、MTB、BMX、キックスケーターなどの自転車の分類のほか、スケートボードやインラインスケートなども多く、利用者アンケートからは、エクストリーム系スポーツの遊び場の不足と施設の整備を望む声が多かった。



遊ぶ子どもと見守る保護者



遊ぶ子どもと見守る保護者



盛況で列ができる様子



スケートボードでの利用者

利用者の年齢及び性別(単位:人)

(単位:人)

	0～9歳	10～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60歳以上	小計	合計
男性	111	39	17	79	45	5	2	298	424
男性 年代別 割合	37.25%	13.09%	5.70%	26.51%	15.10%	1.68%	0.67%	100.00%	
女性	39	7	8	45	24	1	2	126	
女性 年代別 割合	30.95%	5.56%	6.35%	35.71%	19.05%	0.79%	1.59%	100.00%	
年代割合	35.38%	10.85%	5.90%	29.25%	16.27%	1.42%	0.94%	100.00%	

使用した用具

(単位:人)

MTB	BMX	スケート ボード	ランニング バイク	その他	無記入	合計
42	70	110	98	92	10	422
9.95%	16.59%	26.07%	23.22%	21.80%	2.37%	100.00%

3 スキルパーク整備の方向性について

スポーツサイクルにおける「乗る・走る・止まる・曲がる」を練習する場として、また、エクストリーム系スポーツの練習場所や遊び場となる楽しい空間として整備し、内外から利用者が集まる場所の創出を目指す。

【参考事例】

鵜沼海浜公園スケートパーク

4 旧静浦東小学校プールの現状



※ 剪定などもされておらず、雑草から幹となっている雑木が多数あり。落ち葉も多く現状のままでは活用は難しい。剪定を行い、はがれている防水層を最低限撤去する必要がある。